

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	100.0	0.0	0.0	0.0
女子	66.7	33.3	0.0	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	100.0	0.0	0.0	0.0
女子	88.9	11.1	0.0	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	50.0	41.7	8.3	0.0
女子	44.4	33.3	22.2	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	14.75	20.83	35.42	47.17	45.75	9.49	155.50	23.50	55.08
女子	14.38	20.25	36.63	47.88	56.38	9.41	158.25	15.63	61.50

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・運動やスポーツ、体育の授業に対して児童は肯定的である。しかし、日常生活では運動をする機会にめぐまれていないので、運動する機会を増やしていく必要がある。

体力面

・握力の項目で、男子も女子も平均値未満だった。遊具を使った遊びや、日常生活で握る機会が少ないことが要因として考えられる。
・男子は走る分野にも課題が見られた。普段の遊びの偏りにより、体育の時間以外での走る機会が少ないことが要因として考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・「鉄棒運動」「マット運動」「跳び箱運動」の時間に、握力や柔軟性を高める前段運動を取り入れる。
動物歩き、手押し車、かえるの足打ち、川飛び越し、ブリッジなど(マット運動・跳び箱運動)
斜め懸垂、ぶら下がり、ぶら下がりなど(鉄棒運動)

体育の授業以外で行う取組内容

・新体力テストの種類に応じた、朝の20秒体づくりの継続
・握力コーナーを設置することで、自分の記録を知り、練習機会の増加を図る。
・なわとびタイム、マラソン旬間の継続

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・県平均かつ全国平均値を越える項目の割合を80%以上にする。
- ・握力の項目で、全国平均値を越えられるようにする。